

労働者教育資料
No.5

成人労働
者教育と
輔導學級

協
調
會

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5

始



凡例

今寄贈本

一、成人労働者教育の必要を鼓吹する時代は過ぎて、今や其の實行運動の時機に際會して居る。此の點に於て吾人は、英國の労働者教育に學ぶ所が多い。殊に其の最近の發達に係る労働者教育協會の採用せる「輔導學級」は、「講義は一、議論は千」の古諺に則り、學者と労働者との握手、智識と體驗との協同によつて、労働者本具の性能を長養し、以て完全なる産業生活社會生活を營み得べき基礎地としめんとするものであつて、此の精神は漸次各國に於ける此の種の教育に幾多の暗示を與へて居る。

二、本編は即ち英國成人労働者教育に於ける「輔導學級」の趣旨、方法、沿革、現

況及將來につき、其の概要を紹介して參考に供せんが爲め、本會社會課長兼教務課長惣田太郎吉の編纂したものである。



正労働
大築
16. 寄贈

三、本編の編纂に方り、参考としたる書籍の主要なるものは左の通りである。

“An Adventure in Working-Class Education,” Albert Mansbridge, 1915.

“The University Tutorial Class Movement,” The World Association for Adult Education, 1919.

“The W. E. A. Educational year Book,” 1918.

“The Story of the Workers' Educational Association,” T. W. Price, 1923-1924,

“Workers' Education in England and the United States,” Margaret T. Hodgen, 1925.

大正十五年四月

協調會教務課

目次

一 輔導學級の意義……………一

(1) 労働者の教育参加……………一

(2) 智識と體驗との協同……………三

二 輔導學級の沿革……………四

(1) 『バッテリー』の先驅學級……………四

(2) 大學擴張講演の缺點及其の補正策……………五

(3) 『ロッヂデール』學級の開始……………八

(4) 『ロングトン』學級の開始……………二

(5) 『オックスフォード』大學教育會議……………四

(6) 『オックスフォード』と労働階級教育……………九

三、輔導學級の指導

(7) 大學及勞働階級代表連合委員會……………二二

(8) 輔導學級の發達……………二三

(1) 研究討議……………二六

(2) 研究題目……………二九

(3) 研究の標準……………三〇

(4) 圖書の供給……………三三

(5) 學生の創造性……………三四

(6) 學生の興味……………三五

(7) 學生の社會的活動……………三七

(8) 指導者と學生との關係……………四一

(9) 指導者の地位……………四四

四 輔導學級の財政……………四六

- (1) 當局の補助……………四六
- (2) 大學の援助……………四七
- (3) 補助の内容……………四九

五 輔導學級の效果……………五〇

- (1) 大學教育の社會化……………五〇
- (2) 大學内部の影響……………五二
- (3) 教育の機會均等……………五四

六 近代生活と輔導學級……………五七

- (1) 市民教育と輔導學級……………五七
- (2) 社會の實生活と輔導學級……………六〇

七 輔導學級の理想及將來……………六二

四

(1) 輔導學級の精神……………三

(2) 輔導學級の改善……………六五

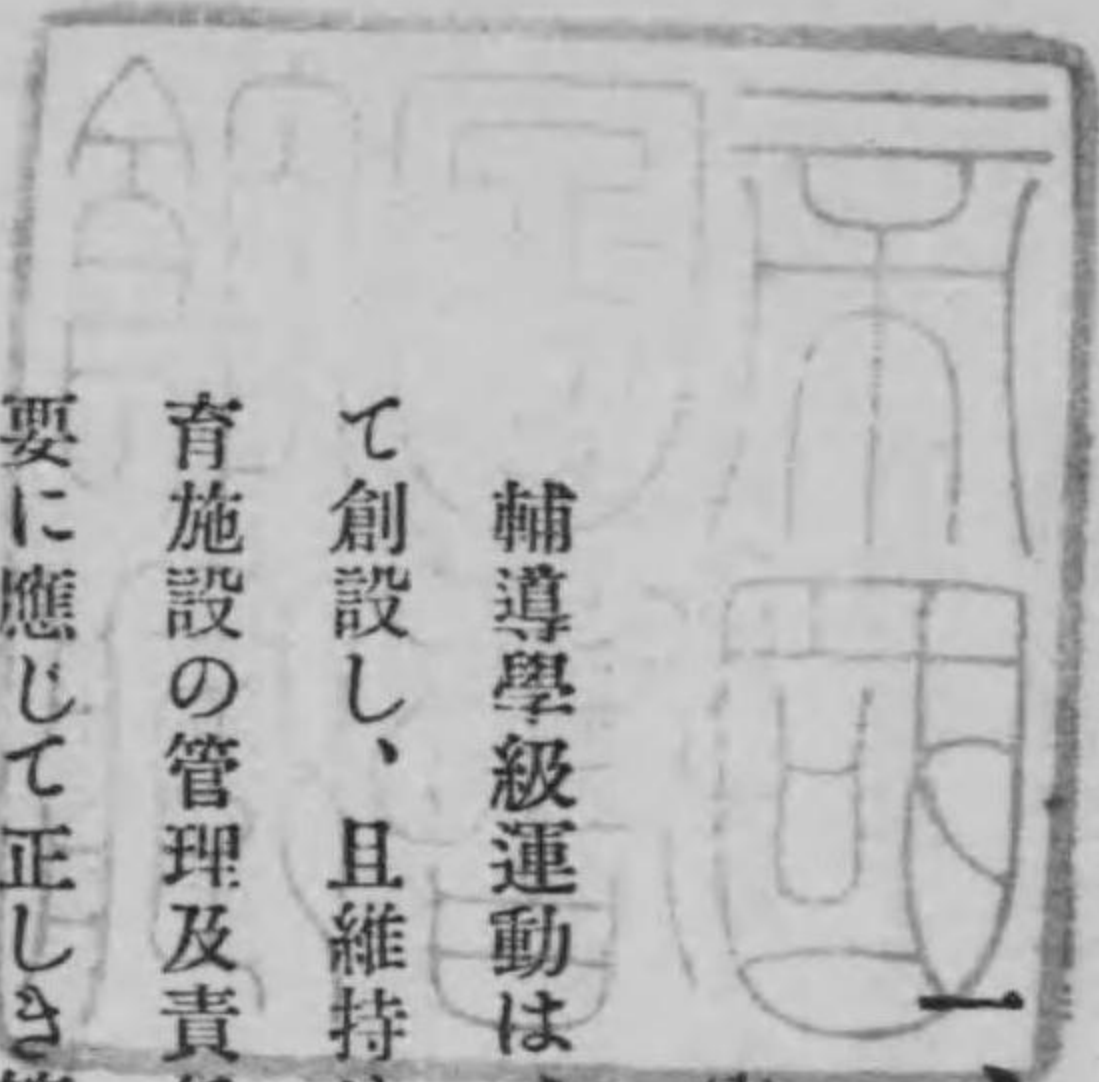
(3) 輔導學級の前途……………六六

成人労働者と 輔導學級

一、輔導學級の意義

(1) 労働者の教育参加

輔導學級運動は、學者と労働者との協同動作に基づき、其の精神的靈的勢力によりて創設し、且維持せられたるものであつて、労働者團體が學者と連合して、平等に教育施設の管理及責任に任ずるを以て其の特色とする。即ちこれこそ社會の實際的必要に應じて正しき筋道を踏むには、すべての人々の勢力を互に影響せしめあふ協同動作の方法を發見しうべきものなることを證據立てるものである。蓋し教育が眞に人間の發達を促し、之によりて男女各人をして正しく生き得べき道を見出さしめ、且社會全體の爲めに各人固有の能力を最高度に迄實現せしめんとする勢力なりとし



て認めらるゝならば、それは社會各人より等しく注意を向けらるべきものであり、又すべての人々の協力に依て始めて其の成果を見得べきものである。抑々吾人の所謂教育とは單に彼の學術や熟練を得んが爲めのものにあらずして、人間本來の可能性を充分に發達せしめんとする過程に外ならない。勿論知識の實際的追求に於ける興味は千差萬別であらうが、併し輔導學級は凡そ此の世に生息する何人と雖も、知識のそれ／＼の特殊の部門から影響され、若は影響を及ぼし合ひつゝあるものであるから、是等の知識の追求には、各方面相互の連絡を要することを主張するものである。例へば、大學に於て労働者と協同するに非ざれば、充分に社會に於ける労働問題の實相を研究する能はざると同様に、人間の活動及興味的全範圍を通じて、此の相互協同の原理が適用せらるべきものである。

輔導學級創設に與つて力ある、労働者教育協會の主唱者アルバート、マンズブリッジが、「労働と學問の二つの流れが合して力強き大河となり、幾多の思想の溪流を

呑みつゝ、自由民衆の大海に注ぎ入る。労働組合と大學との協同は、鹽て緑の牧場に色彩らるゝ、樂しき英國に「エルサレム」を建設するものである」といへるは、即ち此の趣旨に外ならない。

(2) 知識と體驗との協同

されば輔導學級の内面的意義は、實際に學術の研究に従事する學者と、其の特殊の研究に關係ある實際生活の體驗を有する労働者とを、出來得る限り協同せしむることにある。取り分け大學に在りては、徒に學校の厚き壁の中に立籠りて社會と隔在し、獨占的地位に高く止まり居ることなく、苟くも人間の知識と聰明とが見出さるべき所に向て、常に手を伸べなければならぬ。蓋し眞理は當然眞實の存する所に向つて流るべき筈なるも、之が爲めには所謂其の交通路ともいふべき流れ道を開いて遣る必要があるからである。英蘭、ウエールズ、オーストラリアの諸大學は、夙

に國內産業都市の細民窟に學者を派遣して、各方面の研究を遂げしめたので、現今では従前よりも刻下社會の大問題に關する純眞な價值ある知識を蓄へ、且學者と民衆との隔りを次第に狭めんとしつゝある。要するに大學はあらゆる方面に其の基礎を求めて、偏倚することなきデモクラシーを作り上げねばならぬ。而して之が爲には廣く人間社會に起伏する種々様々の事象の活動交渉より生ずる、靈的精神的勢力を以て之を鼓吹し長養することを要する。

二、輔導學級の沿革

(1) バッターシーの先驅學級

輔導學級は、此の見地から從來成人教育に對する要求に應じて、労働者教育協會の創めたる施設である。同協會は一九〇三年の設置に係るものであるが、最初の年に於ては、其成功は眞面目なる學生を育成する才能ある指導者の力に待つことが多

いとせられたが、幸に其の人に乏しからず。而もカノン・バーネット及ロバート博士は成人教育問題に特殊の經驗に富める最も有名の人々であつた。即ちバーネットはトインビー・ホール創設以來労働者に對する大學知識の普及に盡力し、ロバート博士は、前にはケムブリッジ大學の地方講演評議員會の幹事を後にはロンドン大學擴張局の幹事を務め、何れも大學の校外教授を公開する問題に非常の注意を傾け、且小人數の労働者の團體を作りて、眞面目に研究することの必要を唱導し、此の二人の盡力によりてバッターシーに一學級を編制し、バトリック、ゲッデス教授を指導者に聘した。併しこれは學級の精神だけは存して居たけれども、二三年間繼續する課程のものでなく、嚴密の意味に於て輔導學級とは謂はれないのであつた。

(2) 大學擴張講演の缺點及其の補正策

労働者教育協會設立の當時に於ては、其の主要なる事業は大學擴張講演であつた。

同講演は協會を通じて益々發展せしめらるゝであらうと考へられたが、此の期待はある程度迄實現せられ、一九〇七年—一九〇八年には、協會の十二支部は大學擴張講演を開き、其他大學擴張本部の設けある多數の都市にては、協會地方支部は該講演の聴講券を地方労働階級團體に販賣し、爲めに其の場合に於けるよりも多數の労働者の出席を見た實例もある位である。然るに大學擴張運動は、最初協會が之を設置せる教育上の要求に充分に應ずる能はざることが、各方面に於て感ぜられた。即ち同講演に對しては補助も寄附も與へられざるが故に、多額の經費支出を要する結果、(1)普通の労働者には仲間入りが出来ない程聴講料を高くするか、又は(2)多數の聴講券を販賣せんとして、遂には其の課目の選擇配列に方り、教育的價値の如何に注意するよりも、労働學生を引付ける力ありや否やに氣を取られるに至るか、二者何れかの弊に陥るの餘儀なき状態に立至るを免れなかつたのである。

かくて一九〇五年創立に係るロッヂデール教育組合によりて、同地に労働者教育

協會支部設立せられ、翌一九〇六年に至り、此の問題は益々痛切に感ぜらるゝに至つた。即ち其の初年には同組合は從來の方針を踏襲して、擴張講演の爲めに文學的の科目を選擇し、頗る多數の聴講者を得て財政上にも好都合であつたが、一九〇六年—一九〇七年の豫定を立つるに當り、イイスター・タイムに住するホールズバーの社會及經濟問題の講演を開催することに決定したるに、意外の結果が現はれた。それは第一に聴衆が六百人から約二百五十人に激減したることであるが、併し此中少なくとも二百人は労働者であるから此の點から考へれば、よし財政上には惨めな状態に陥つても、此の實驗は極めて有意義なものであつたといつてもよい。第二に多數の聴衆に對して經濟問題及社會問題を取扱ふことの困難が最も明かに證明された。即ち從來の講演の例によれば、講義終りて後講師に質問せんとて會場に殘る聴衆が頗る多數であつて、時には其の數百五十人に達する程であつたが、爾後ホールズ・バーの講義の場合には後に殘る者は極少數となり、其の代り文學の講演の際よ

りも質問は一層數多く且緊張して、遂には討論會と變る様になつた。元來二百人からの而も何れも議論好きの人々の集まりで、自由に無制限に經濟問題を論じ合はうとすることの困難なるは誰にも分る筈である。於是乎財政上及教育上の見地より、大學程度の經濟並歴史教授を、大學擴張講演によつてよりも、一層労働者にふさはしきものたらしめ得べき、何等か適當の方法が発見されはしまいかと言ふことを研究する必要に迫らるゝに至つた。

八

(3) ロツチデール學級の開始

偶、一九〇六年一月、倫敦の大學に開かれたる會議に於て、バーネット等の主張する少數労働者學級問題を攻究する爲めに任命せられたる委員會は、輔導學級制度によることの最も緊切なるを報告した。さればロツチデールの人々が、教育協會のアルバート・マンズブリッジに對し、大學擴張講演に於ける教育施設の不完全を訴へて來

た時に、マンズブリッジが、若しも有志三十人に達し、二年間に跨つて眞面目に研究する組を作り得るならば、協會は全力を擧げて輔導講師を招聘してやらうと約束したのは、決して偶然ではないのである。而して事實見込通りに三十人の學生を募集するには何等の困難を感じなかつた。かくて一九〇七年の初夏土曜日の午後、五十人乃至六十人の有志學生は、バイリー街のリセアムに會合して、其の開催せらるべき學級の課程と時間とについて評議し、フレッド・ホールの提案によりて、研究題目は『經濟史』集合の日は土曜の午後と決定した。斯く土曜日が集合日として選ばれたことにつきては、種々の理由がある。即ち第一に當時は現今の如く『時間外作業』と言ふ魔神が、未だ充分に追ひ祓はれて居なかつたので、労働者學生が規則正しく出席する爲には、此の日が最も好都合であり、第二に時間外作業の問題を離れて考へても、紡績工場に於て土曜日以外毎日十時間の労働をなした後では、疲勞の結果到底二時間の熱心な研究を行ふに堪へないので、土曜日が最も便利なりとせられたので

九

ある。併し勿論土曜日の午後を選定したる結果は、毎週唯一回の半日の休業を失ふべきこととなるべきも、學生に取つてはそれが必ずしも無益な犠牲だとは思はれて居なかつた様である。例へば其の内の一人は頗るフットボールの天才ある物數寄家であつたので、學校に出席することは其の大好きな遊戯を捨て、且恐らくは是迄の手練迄をも犠牲として仕舞ふこととなるであらうにも不拘、彼は敢て其の初志を翻さずして、精勤學生の中に數へられ、後には教育組合の書記となり、今尙輔導學級の有力なる會員となつて居る位である。

於是今や教育協會はアルバート・マンズブリッヂが曩に協會を代表して聲明したる誓約を實行すべき時機となり、従て輔導者を求むること、並に財源を見出すことの二問題の解決を要することとなつた。第二の財源につきましては、ニュー・カレッヂよりオックスフォード大學擴張代表委員會を通じて、三百磅の補助金を交附せられ、尙必要な財政的援助をも與へらるゝこととなつて解決を告げたが、更に重大なる

は第一の輔導者の選擇であつた。蓋し此の實驗の芽生へを育てるのも枯らすのも、唯輔導者の手腕一つに存するからである。抑々かゝる輔導者の資格は、一面には學者にして教授に堪へうる技倆を有し、而して更に勞働階級の心情に對する理解と同情との豊かなる人たるべきことであるが、パリオルのアール・エツチタウネーこそ眞に之に該當する人士であつた。氏は教育協會の熱心にして活動的な會員で、曾ては主として倫敦の東端に於て、勞働階級の事情を審に知りうべき幾多の經驗を積み、當時はグラスゴウの大學にて經濟學の補助講師の職にありし人なるが、報酬の多寡を問はずして、此の困難なる事業の計畫を援助することを承諾した。然るに思ひの外準備が手間取りて一九〇七年の秋には、未だ學級開設の運びに至らずして、絶えず地方教育當局や文部省と打合せを行ひ、當時教育組合實行委員の一人たりし「勞働者教育協會の話」の著者ブライスは、其頃學級開設に關聯して頻出する幾多の難問題を討議し調節せんが爲めに長引いた集會が催されたことをまざまざと記憶して居る。

此間に在て、アルバート・マンズブリツヂ及協會の役員エル・グイ・ギル、フレッド・グリインウッド、及アレクカーター等の示せる堅忍、熟練、及機略は會衆一同の賞讃する所となつた。かくて漸く一九〇八年一月二十五日(土曜)に及びて、遂にロツチ、デール學級が開始された。

(4) ロンゲトン學級の開始

一九〇〇年以來、スタッフォード シヤイアに於けるロンゲトンの大學擴張講演は、ロツチ デール大學委員會に類する眞劍にして先見に富める委員會の經營により、鋭敏にして熱心なる、而も大部分勞働者より成る聽衆を集むることに成功し、殊に幸にも當時ロツチ デールに於ける精神作興の源泉と稱せられたる牧師ダブルユー・ハドソン・シヨウに依囑して歴史の連續講演を乞ひ居たるが、シヨウは其の講演を進むるに伴ひて、之を學級組織とすることの利益を主張したる結果、遂に熱心なる

學生團が編成せらるゝこととなつた。此中には社會民主主義聯盟會員にして、此の歴史講演以外に、尙經濟學を研究する人々も加はつて居た。然るに一九〇七年十二月末、此の學生團は大學擴張運動に於て望まらるゝより以上に、一層系統立つて繼續した研究をなし得る機會を與へんことを要求したので、シヨウは之に對しオックスフォードに於てなされたる提案を告げた。於是學生團は更に之を提げて該講演に關し、財政上の責任を有する地方教育委員會に迫り、かくて其の選定したる科目を適當に教授するに足るだけの期間を有する講習を開催せられんことを望む旨の要求はオックスフォード大學擴張代表委員會に送致された。代表委員會は之を以て曩にロツチ デールよりの要求に基づきて處理したると同一の性質を有するものなりとし、又之を要求したるロンゲトンの學生團自身も、ロツチ デールにて選擇したると同一の題目及び、同一の講師を認め、且ロツチ デールの學生と同じく喜んで二年間引継ぎ出席し、及び論文を提出することを誓約すべき旨を聲明したので、茲に學級が編成

せられてロングトンに於けるものと、ロッチデールに於けるものとは、互に獨立に併し相並んで、結局同一の目標を指して進むことゝなつた。ロングトンの學生は學級集會日として金曜日の晩を選び、始めて會合したるはロッチデール學級の最初の會合に先立つこと一日、即ち一九〇八年二月二十四日金曜の夜であつた。

兩學級とも創立の際の學生は何れも三十人を超え、眞面目に熱心に課業に従ひ、ロングトンに於ては四十名入學し、第一回の集會後二名退學して三十八名となり、平均出席三十一名、ロッチデールに於ては四十三名入學し、最初の二回會合の後三名退學して四十名を残り、平均出席三十九名であつたと言はれて居る。

(5) オックスフォード大學教育會議

抑輔導學級が始めて世に顯はれた當時は、此の種の計畫をなすものは大學擴張代表委員會のみであつて、最初の指導者タウンローを任命したのも、又始めの一ヶ年間

學級を管理したのも、此の代表委員會であつた。併しロッチデール學級の設置問題が考慮されつゝありし際には、最早輔導學級に關する特殊の機關を設置すべき機運に向つて居た。尤も勞働者教育協會創立以來、大學擴張當局の贊助と協力によりて、毎年催さるゝ夏季擴張集會の際、教育關係の問題を討議する一つの會議を開くを例として居つたが、一九〇七年の會議の際に於ける討議の題目として選ばれたのは、『勞働階級教育に對するオックスフォードの關係』であつた。此の時北西消費組合教育委員會協會長ウォルター・ニールド及ジドニー・ポールは、相圖りて、『勞働者は如何なる施設をオックスフォードに求むるか』及『オックスフォードは勞働者の爲めに如何なる施設を爲しうべきか』と題する印刷物を配布した。於是大學校外教授の取るべき新様式の要求に關連する問題全部に涉りて論究すべき機會を與へられ、次の決議案が會議に提出せらるゝために起草された。

勞働階級及教育團體より成る當全國會議は、高等教育に對する勞働者側の要求

の益々向上しつゝあることを確認し、及歴史經濟其の他の文化的問題の系統的教授につき、尙一層オックスフォード大學の協力を促さんが爲めに、同大學副總長及び勞働者教育協會執行部に於て、それ〴〵指命に係る七名宛の人々より成る委員會の設置に賛成する。該委員會は、當會議に於て發表せられたる此の二種の印刷物に基づく提議を實現すべき最良の方案を講究して、之を次の復活祭當日迄にこゝに參列したる諸團體代表に報告すべし云々』

會議は一九〇七年八月十日オックスフォードの練習學校に於て開かれ、前記擴張集會に出席せる學生に加ふるに、二百の勞働階級團體よりも代表者が參加した。議長バトミンハムの僧正ゴリア博士、オックスフォード擴張代表委員會幹事ジエー・エー・アール・マリオット、當時文部次官たりし故サー・ロバート・モラント及前記印刷物發表者等によりて、卓越したる同情深き演説が試みられたけれども、何等の反響なく、會場には寧ろ一種異様の氣分が漂ひ、代表者の多くは、勞働者側に瀾漫せる大

學に對する不信任に賛意を表し、一方大學代表者が、何とかして男女勞働者の人々に奉仕し得べき道を見出さんと勉めたるに不拘、是等の人々は何分にも勞働階級の識見及其の要求につきての精確なる性質に關し、充分なる知識を有せざりしが爲めに、折角同情に富める演説をなすも、勞働階級代表者に感動を與へて、其の不信任を緩和することは出来なかつた。かくて暫くの間は、最早兩派の間を取做すべき策も盡き果て、此の會議は不成功に終る外なかるべきかと思はれたる處に、ポーツマス造船所の造船技師ジエー・エム・マクタヴィツシユは起ち上りて一場の感激に満ちたる演説をなし、其の友人勞働者達と共に、平素懷抱し乍ら未だ發表し得ざりし意見を率直に紹介して、大學に對する批難を遠慮なくて述べ立て、且之を匡救せんが爲めの要求を提出したので、忽ち會議の空氣は一變して、從來の冷淡さと焦立たしさとは、恰も魔術に懸りたるが如くに消え失せ、相當の程度迄兩者の親密なる接觸が行はれて、遂に大學代表者と勞働階級代表者との間に圓滿なる諒解が成立し、それより熱心に

決議案の論議に取懸る事となつた。於是學問の發達は、廣く労働者に依る經驗の事實と、學者の發見したる學理との連絡調和に基くべきものなることの原則を、將來充分に適用しうべき機會を捉へることが出來て、結局決議案は僅かに四名の反對者あるのみにて可決せられ、多大の感銘を與へて會議終了を告ぐるや、直ちに之が實行に移ることとなつた。大學副總長マクダレン大學學長、博士トイー・エツチ・ウアルレン（現時はサー・ヘルバルト・ウアルレン）は此の決議を承認し、進んで七名の大學代表者として、基督教會副監督博士トイー・ビー・ストロング（現時はリボンの僧正）、教授エツチ・エツチ・ターナー、エー・エル・スミス、シドネー・ポール・ジエー・エー・アール・マリーリオット、當時ラスキン大學講師エツチ・ビー・リー、スミス、エー・イー・ツイムメルンを指命し、協會は労働者側よりシー・ダブルユー・パウワーマン、ドイー・ジエー・シャツクルトン（現時はサー・ダヴィッド・シャツクルトン）を労働組合大學の代表者として、ダブルユー・エツチ・ベリーを消費

組合、俱樂部及會館同盟の代表者として、故リチャードソン・キヤム・ブベルを全國友愛會連盟の代表者として、ジエー・エム・マクタウイツシユ、ロツチ・デールの評議員エー・ウイルキンソン、及アルバート・マンズブリツヂを労働者教育協會の代表者として指名した。かくて此の委員會は一九〇七年十二月末第一回會合を開き、基督教會副監督ストロング博士議長に、シャツクルトン副議長に、マンズブリツヂ及ツイムメルマン聯合幹事に選舉された。

6) 『オツクスフォード』と労働階級教育

此の委員會の仕事は實に偉大なるものであつて、一九〇八年發表せられたる『オツクスフォード』と労働階級教育』と題する同委員會の報告は、(1)大學の制限を超越して出張教授を行ふこと、(2)労働階級の學生を選抜してオツクスフォード大學に入學せしむること、(3)労働者教育に従事する教師の地位及報酬の向上、(4)労働階級教育

を處理する經營當局、(5)ラスキン大學、(6)政治科學の修了認定、(7)特殊研究諮問機關等に關する七條項に分れ、將來此の新運動の發展すべき方向を示す羅針盤として廣く英語國民の間に普及し、且即時再版を要求せられ、米國にても頗る好評を博して少なくとも大學をして勞働教育に對する態度を一變せしめ、爾來特に輔導學級運動の著るしき發達を遂ぐるに至つたのは、此の趣旨の第一の條項が、最も時宜に適せるを示すものである。尤も他の事項と雖も、夫々採用されたものがある。殊に輔導學級の學生が寄宿學生としてオックスフォード大學に入學したものがあり、又第一の條項に依り大學構外に學級が設けられて、勞働階級の教育に大學側の貢獻する所多くなるものがあつた。又大學の教師にして勞働者教育に従事するもの、身分及報酬を向上せしむべき勸告は、世人をして著るしく此の新學級制度の社會的に重要なこと、及大學と同性質の特色あることを認むるに至らしめ、又經營當局の組織形式につきては、半數を勞働者の代表にて占むる聯合委員會の設置を勸告し、實驗上より組織

勞働者と高級の學者との間には、互に共通の興味を有するものなることを公けに認定した。委員會は學級の修業年限は二年以上の課程たるべきことを勸告したが、文部省は三年の課程を有する學級に對して特殊の補助を與へたので、之によりて大學及勞働者教育協會は其の學級の設置上有力なる財政的援助を得、尙文部省は眞實の理解の下に、常に同情ある批評と獎勵とを與へ來つたので、三年制が殆ど學級の普通の課程となり、時としては更に進んで四年、五年、六年、ある場合には八年以上も繼續する學級さへ顯はるゝに至つて居る。

要するに此の委員會報告書は實に成人教育史上の重要な文献であり、其の成人勞働階級教育問題を簡明に概説及解剖したる點に於て、一九一九年に於ける成人教育委員會の最近報告に比して遜色なしと推賞せらるる次第であるが、殊に最も重要なりとされるのは、輔導學級施設に對し責任ある機關は、大學側及勞働階級側より出づる同數の代表者より組織せらるべきことの原則を主張して、之を勸告した點に存

する。

二二

(7) 大學及勞働階級代表連合委員會

かく勞働階級代表者が、大學事業の一部の實際管理に参加すべきものなることの提議は、從來全く先例なきことなりしに不拘、幸にも直にオックスフォード大學副總長に依り承認せられ、一九〇八年十月二十七日大學總會に於て、擴張代表委員會をして前記の趣旨による連合委員會を設置せしむることの規定が發表せられ、其最初の連合委員會が先づオックスフォード大學に依りて設けられ、次で同種の委員會が輔導學級を經營するイングランド及ウェールズの各大學に設置せられ、於是始めて此の公認せられたる機關を通じて、大學擴張講演以外の大學教育が勞働者に受入れられ易きものとなつた。

幾ばくもなく一九〇八年、オックスフォード大學は從來の輔導學級の外更に六

學級を増加し、翌年にはケムブリッジ、マンチエスター、リプアプール、ロンドン、リーズ、及シエフキールド等イングランド及ウェールズに於ける各大學も亦輔導學級事業を施設し、一九〇九—一〇年の間には三十九學級が經營せられ、一九一三年マンスブリッジが其著『大學輔導學級』に於て、輔導學級概念、目的及事業を説明せる際には、學級事業創始以來僅かに五ヶ年を経たるのみなるも、そは最早大學の事業として當然且普通なる部分として認めらるゝに至れる程の、堅實なる運動として記述することが出来たのである。

(8) 輔導學級の發達

イングランド及ウェールズに於ける此の學級運動發達の狀況は次の如くである
(此統計には極少數の蘇格蘭及愛蘭の學級が含まれて居る)

二二

學級數

學生概數
男 女

年	學級數	男	女
一九〇八年	二	四八	一一
一九〇九年	八	一八九	四八
一九一〇年	一一七	二六二六	五五〇
一九一一年	一五二	二三三八	七七二
一九一二年	一二一	一五〇六	九〇八
一九一三年	九九	一一三三	一一七九
一九一四年	一二一	一六八一	一一七九
一九一五年	一五三	二〇九八	一六八五

備考 大戦の結果として、一時學級數の減少したること、女子の出席者の増加したることは興味ある事實である。一九二四年八月オックスフォード

ドに開かれたる第二インターナショナル主催労働者教育會議の報告によれば、三年制輔導學級(論文提出の義務あるもの)四〇〇、一年制輔導學級(任意論文提出)六五〇、學生合計二萬五千を數へて居る。

かくして學級は今や英本國、ニュージーランド、及濠洲聯邦に於ける重要な教育制度と認めらるゝに至つた。又加奈陀、南アフリカに於ても、大戦以來同様の發達をなすべき機運が醸成せられ、北米合衆國に於ては一九一八年略々同種の運動が開始せられ、土地の情況に應ずる獨特の方法も考案されたのであるが、其の起源は明らかに英國に於ける此運動の成功から一種のインスピレーションを得たものである。イングランド、ウエールズ、オーストラリア諸州に於ける各大學は、何れも常規の事業の一部として、輔導學級を施設して居る。

三、輔導學級の指導

(1) 研究討議

學級指導の方法は指導者によりて其の趣を異にして居るが、通則としては、(1)會合の時期は毎週二時間宛三年間、毎年三十四週間合計四十八時間出席する義務がある。而して其の二時間中、第一時は講義、第二時は討議に費され、其の間に於て學生は適宜意見の發表をなし、理解し難き諸點を充分に討議論し、二週間毎に論文を提出し、指導者は丁寧之を批判して返付する。(2)學級の學生は又時には指導者の提示する問題を自由に討議批判する機會を與へられ、且之をなすことを要求される。本來自由討議が學級の根本精神とする所で、學級制度が今日の如く各方面の共鳴を得て隆盛を極むるに至つたのは、畢竟創業者が「労働者の研究學習とは、自己が他に與へると同時に、他より自己が取込むといふ特徴を有するに基づくのである。即

ち何等かの經驗を有する人々がある問題を研究するのは、一面に於て其の學識經驗を他に寄與し、一面に於て他の學識經驗を分け取ることである。従て教師といひ學生といふも畢竟は同僚であり、平等の研究者であつて、唯教師は特に一方面の専門的研究者なるにより、自然他の人々に對して特殊の奉仕をなすべき責任を有するに過ぎないものである」といふ原理を熱心に鼓吹し且其の實現に努めた結果である。されば學級の教授は學生の獨創的思索研究を主眼とし、常に出發點を學生平素の經驗に求め、之を指導して反省し批評せしめ、以て益々其の知的興味を涵養せんことを期するのである。即ち普通の人間の有する性來の研究心並知的欲求に應じて、益々之を啓發せんとする鞏固なる信念に基づく施設に外ならない。

従て學級の教授方法は此の信念より割出さるゝ結果、卒業證書や修了證書の事などは殆ど問題にされて居ない。又教師は單に教授するのみならず、自己自らも之に依て學生と共通に有する興味を發達せしめんことを圖り、學生には講義を筆記する

よりも研究討議を奨励し、其結果彼の試験に應ずる必要上廣い範圍に涉れる形式的、組織的の講究よりも、充分に精選されたる少數の學科の緊張したる研究が最も重要視さるゝに至つた。

要するに教育と實生活との調和、換言すれば現代社會問題に對して學者の研究を關聯せしむること、學究的理論と日常の勞働實務との結合を圖ること、教育は徒に高尚なる目的に到達する手段たるよりも、寧ろ人生の實際生活に役立つべき所以の途なること、是等の事項こそ學級制度を設け及び教授の方針を定むべき根本の鍵といふべきものである。曾てハックスレーが當時の人々に對し眞理の爲めには身を提して之に奉仕すべきことを力説し、アーノルドが社會文化の爲めに貢獻すべき人の義務を高潮したるに不拘、彼等が勸説之れ努めたりし其頃の有産階級より、殆ど一顧だも與へられなかつたのであるが、今や漸く其の反響を得て、こゝに勞働者教育に於ける輔導學級運動の全盛を見るに至つたのである。

(2) 研究題目

研究の題目は初めは勞働團體の實務に便宜なる經濟史及經濟學を主とし。尙此他に政治史、政治科學、社會學、生物學、英文學、哲學、心理學、倫理學、地理及自然科學等を教授する學級があつて、國語、算術の如き小學校教育の延長たる性質を有する題目は、勞働者の有力なる要求となつて現れざる爲めに其施設を見ない。

一九一三—一四年の間に於ける三、〇三五人の學生の職業を分類すれば左の如くである。

熟練勞働及不熟練勞働従事者	一、八七〇人
教師	三〇八
店員及通信技手	六二三
雜(牧師事務員を含む)	二三四

大部分は雜多にして分類し難し

經濟學に關する理想的の學級は男女學生二十人位にて組織せられ、教師は夫々牧師、銀行家、商人及藝術家等の何れかの型を有するもの二人又は三人より組織さるゝものであるといはれて居る。併し之は唯種々様々の經驗の結果が學生の中に織込まるべきことを力説したものであつて、必ずしも強いて文字通りに拘泥してはならない、従て學級には婦人を交へなければ不完全である。又學生の間に政治上及宗教上の見地を異にするものを包含するならば更に妙であらう。併し實際には學級に學生を撰擇して入學せしむる方法がない爲めに、折々著るしき困難に遭遇することがある様である。

(3) 研究の標準

曩にも言へる如く輔導學級の事業は、指導者の性質及其の學級の爲に費しうべき

時間、學生が其の従事せる職業關係に基づく過度の要求より免れえらるゝ程度、學級組織上の注意、學生に適當なる教科書の種類等によりて夫々其の性質を異にし、之を概説することは困難である。併し之を卒業前の大學生と比較すれば、輔導學級に在りては大學とは研究の範圍を異にし、社會的研究が其の大部分を占めて居る。現時輔導學級の學生は一般に小學校卒業後補習教育を受けた事のない者が多いのであるが、大學生は産業及政治上の經驗を持たない。輔導學級の學生は議論せんとする疑問と意見とを持つて講義に出席するが、大學生は書き込むべき筆記帳を手にして出席するを殆ど普通とする。輔導學級の學生は知識其物を求むるが、大學生は知識をも要求して居るが併し其の直接の目的は學位を得ることにある。要するに輔導學級に於て歴史、經濟學道德及政治哲學の方面につきては、慨して大學の普通及第程度以上の實力を有し、特に成績良好なる者は優等卒業の程度に迄達して居ると言つても過言ではない。適當に組織されたる學級に於ては實際大學一年生の如き低い實

力の者は極少數である。

學生は研究に熱心にして學級の最短期を三年に延長した後に於てすら、嚴密に宣誓を確守し、最初のロッチデール學級の學生は四年間、ロングトン學級の學生は八年間出席し、ロングトンの方は人は變つて居るが今尙有効に其の事業を繼續して居る殊に一層困難なる論文作製さへ固く行はれた。學生の中では未だ曾て論文を記述した經驗なきものが多かつたが、それにも不拘提出された論文の成績の優良なることは、故バリオル學長エー・エル・スミスの次の批評がよく之を物語つて居る。『學生の書いた論文の二五％は、オクスフォード大學の近世史料の上級學生の優等賞に値する論文にも劣らざる程立派なものである』云々

勿論境遇並に準備の點に於て、非常に差別のある輔導學級學生の論文と、遙かに懸隔せる大學卒業期の學生の作品とを嚴密に比較することは賢い方法とは言はれないが、併し兎に角有名なる學者にして講師たるスミスの此の物語は、將來輔導學級制

度の普及及び擴張に對して偉大なる勢力を添へるものである。

(4) 圖書の供給

各輔導學級に對して、圖書の充分なる供給を望むことは困難である。最も勿論各學生は自ら多少書物を購入する様には努めて居るが、如何に必要でもある程度迄唯参考用に供するに過ぎない様な、非常に高價の書物を買入れることは、大多數の學生に取ては到底望み得ない所である。於是ロンドンの學生中央圖書館が、一九一六年中央連合顧問委員會の援助によりて設立せられ、爾來或は一二の學級に於ては所要の圖書を得ることか出来ない個所がないでもないが、大體に於て學生は最早前記の如き圖書供給上の重大問題に直面せしめらるゝ憂は除かれたと合理的にいふことが出来る。

中央圖書館は聯合委員會の設置に係る巡回文庫の補充機關であつて、一九一六年

一九一九年の間に輔導學級に提供した特に高價の種類の圖書は二、八八八冊に達した。各冊共必要に應じて六ヶ月間は學級に留め置くことを許される。

中央圖書館が熱心に經營しつゝある間に、此の施設は更に一般に全國民の需要にも適當なるものなることを認められ、圖書館員會議に於て、國民各自が其の限りある財源によりては到底備へ付けることも出來ず、又買ふことが適當とも思はれざる如き高價の書物や、珍貴の副本を供給すべき必要の設備として高唱せらるゝに至つた。

(5) 學生の創造性

此の種の課業に参加せんとする男女労働者は、明かに思慮周密なる人々であつて、其の多くは己に澤山の書物を讀破せるものなるが、其の方法頗る散漫に流れ居るが爲めに、最初の間は専門的學習上の準備甚だ不充分なるも、間もなく之を補ひ得て、

綴字句讀の如き些々たる事柄の爲めに煩はさるゝことなく、學級創立の精神が着々として實現せらるゝに至るのである。實際學生は其の提供せらるゝ題目を選んで學級に加はり又學級は其の指導者を選び、並に其の教授要項を編制する自由を許されて居る。世人往々此の二方法の採用に對して非難を加ふるものもあるも、そは成人學生の有する創造性を顧慮することの心理的重要なる意義を有するを解せざるの誤に基づくものである。

(6) 學生の興味

學生は主として經濟學を研究し且大部分は産業史を學ぶを常とするが、暫らくにして文學、哲學に非常なる興味を持つ様になる、彼の大學にて教授する如き經濟學のみを知つて居る人々は、經濟學偏重の弊害を認めて居るが、輔導學級に在りては決してかゝる偏狹な取扱をなす様の危険はない。即ち其の學科の範圍は長期に亘る學

校教育を要しないものに限られ、例へば算術、國語の如き純正科學及應用科學の如きは此の範圍以外として除かれて居る。最も中には生物學の學級が非常に成功した珍しい實例がないでもない。『科學教授に關する總理大臣主催の研究委員會』は「ハリファックス」の學級につきて下の如く其の指導者の證言を擧げて報告して居る。

『成人學生の科學を研究する學級の成功は、主として巧妙なる教授方法と、高邁なる教師の人格に基づくものである。元來科學に關して成人學生を教授する正しき方法を見出すことは、經濟學の如き科目のそれに比して頗る困難なものであつて、其の失敗の原因は主として次の二つである。(1)教授材料が餘りに基礎的に偏して、一般に興味を惹起す様な科學的事柄を取扱はない事。即ち酸素や水素の性質といふが如き教科書に書いてある様な無味乾燥な事項計りでは、成人勞働者に深く興味を起さしめることは覺來ないのである。(2)教授が餘りに専門的、分化的に偏すること。固より是等の弊に陥らざる教師を求むることは容易でないが、

さりとて又勞働者は自然科學的事物には興味を缺いてゐると想像するのも非常な誤りである。即ち若しこゝに推理判斷の力を覺醒する道を會得したる優良の教師があつて、眞に巧妙なる科學の教授に當つたならば、勞働者は生氣潑瀾として之を受け入れる可能性を有つて居る。又よし假りに科學につきてはかゝる賢明なる刺戟に應ずることが出来ないとしても、概して經濟學の如き課目につきては、其の基礎になつて居る問題が、彼等の日常生活の事實と比較的觸接して居るために、よく之を理解することが出来る』云々。

(7) 學生の社會的活動

學生が其の従事する生活上の職業に熱心なるは言ふまでもないが、その他に篤志を以て社會的施設に盡すことも亦著るしいものである。完全な記録は未だ出來て居ないが、次に示す四個の學級に關する學生の社會的關係の統計は、代表的とはいは

れないが、有力なる参考材料として見るべき價值がある。

學級	A	B	C	D	計
勞働組合役員	三	一	七	五	一六
同業組合評議員	三	一	一	一	五
政治團體役員	二	二	一	二	七
私立學校教員	五	二	五	三	一五
同胞協會役員	一	一	一	三	六
産業組合幹部	二	一	二	一	六
成人學校の教師又は役員	七	五	五	三	二〇
地方の牧師	一	一	一	一	三

備考 A 學級は住民合計一萬八千を有する二個の工業地の村落に役立つて居

る。B 學級はロンドンの成人學校組合支部より主として援助を受けて居る。C 學級及D 學級は田舎の都邑にある勞働者教育協會支部の組織にかゝるものである。

尙此の學級の指導者は、同様の事實の證明として、本調査の後五年を経たる時は、現在及過去の學生中十四人の市會及町村會議員を出したといつて居る。

學生の熱心なる態度は驚く計りにて、長時間の勞働の疲勞、過度の作業及失業、篤志の社會的施設に従事すべき任務及交代作業制度等より受くる幾多の障害あるにも不拘、よく學生團體に對する苛重の負擔を遂行して敢て撓まない。現に常時出席者の割合は通常七五%以上に上つて居る。かくて學生の計畫に係る傳道及擴張事業によりて學級は新に社會的に重要な意義を認められ、ある學生の如きは一方に於て四學級に出席して完全なる研究の責任を果しつつ、一方に於て一冬に自ら講師となりて十七回の講習會を開き、而も其の講義草案を豫め指導者に提出して訂正を求め

た者すらある。ポツテリースに於ける四學級は一九一六年—一七年の各女子學級十三を起してすべて篤志の教師が之を擔任し、又ロングトン及ロツチデールに於ても等しく驚くべき團體的奉仕の精神が喚起せられて、學級經營の外進んで外部の奉仕施設に當り之によりて訓練されたる男女の人々は今尙盛に各方面の事業に活躍して居る。即ちロツチ・デール學級は勞働者教育協會に多數の熱心なる奉仕勞働者を供給し、又ロングトン學級は最初の間は勞働者教育協會あることを知らず、且何等之との連絡を有しなかつたが、後には同協會に参加して、其の完全なる一分子に變形するに至つた。尙こゝに特記すべきは、成人教育の問題に關し價值ある貢獻をなしたロングトン學級の初期學生なる三人に關する事であるが、イー・エス・カートライトは現時オックスフォード輔導學級連合委員會の幹事であつてオックスフォードの大學は之にマスター・オブ・アーツの名譽稱號を贈り、イー・ホブソンは現に勞働者教育協會北スタッフオードシャイア支部幹事の職に在り、イー・イー・エメリー

は進んでパリオル大學の學習を終へ、現にオックスフォード連合委員會に屬する指導者の一人となつて居る、其の他各種の社會施設は國內到る所に行はれ、或は直接に女子學級に編成し、或は間接に文學會連合教育施設を起し、成人學校、同業評議會等既設團體の普及完成を圖り、或は一般的に篤志的教育の標準を高くせしむることに努めて居る。

(8) 指導者と學生との關係

講師は各大學に設けられたる大學連合委員會の承認を経なければならぬが、眞に優良なる教師は何んな場合でも決して學級に受けの悪い様なことはない筈である。又教授要目も同委員會の認可を要することになつて居る。學級の學生には元來燃え立つ計りの研究心があるから、自然其の熱望する點よりして問題の討究に着手することが適當であり、又既知の事項を基礎として未知の世界の研究に導き入るゝ様に、

常に、適當なる指導をなすことは、民衆教育上特に緊要である。勿論進歩したる教授法によることは大に技巧を要するが、學級に最も生氣潑刺たる熱心と元氣を加ふる原理は、『各學生は教師たり、各教師は學生たる』覺悟を有することであり、『輔導學級は三十二人の教師と三十二人の學生より組織されて居る』といはれ、又波斯の諺に『講義は一にして討議は一千』とあるのも、此の原理が實現されるればこそ研究は益々進歩して興味を喚起し、一週數十時間の労働に服し乍ら、疲勞をも忘れ、熱心に學級に出席して課業に従事し、且規則通り論文をも提出することが出来るのである。

ジエー・ダブルユー・ヘッドラム及教授エル・トイー・ホツプハウスの編纂に係る文部省發行の『學級に關する報告』に於ても學生が課業に對する清新味及快感を有することを以て學級の主要なる特色の一に數へて居る。實際學生中には家庭に歸ると諸種の事情に妨げられて、兎角勉強が出来ないので、不得已夜中に起出で、二時間論文を書き、それから又寢床に入るものもあれば、學級の會合に費さるゝ時間は二

時間と定まつて居るが、必要によりては便宜之を延ばすこともある。併しそれも門番が門を締め切る時刻迄に限られるので、それからは街路の一隅に立つて研究を続ける、パーミングハムの哲學の學級は、何時でも夜更け迄路傍で討議して居るので、仕舞には神經過敏の警官が之を見付けて、驚いて通行の妨害になるといつて指導者を責め、解散を命ずる様なこともあれば、又ある經濟學の學級では、路傍會議で結末が付かないで、指導者に従つて鐵道の停車場に行き、それでも議論が盡きない爲めに、其の儘指導者を追懸けて汽車に乗込み、得心のゆく迄論じ続けるものもあると言はれて居る。而して又ロツチデールのタウンネー其他早くより指導者となつて居る人々は、學生の友人として時々其の家庭を訪問し、茶を飲み晩を過すことがある。此場合には學級の他の學生も設備の許す限り、時にはそれ以上にも其の家に押懸け、議論に花が咲いて遂には夜を徹して論じ続け、曉の迫るをも忘れることが珍らしくないといふ如く、あらゆる機會を捉へて可成學生に接觸せんことを努め、恰もオツ

クスフォード大學の教師がその學生に對すると同様の態度で、積極的に勞働學生に影響を與へんとし、勞働時間の爲めに多少の制限は受け乍らも、當時一般に指導者と勞働者教育協會の學生との間に行はるる、一層親密なる交情を保持せんことに全力を注いで居る。

初期の實驗時代には種々雜多の人々が指導の任に當る爲めに、自然大なる危険が之に伴はないでもない。併し各指導者が眞に勞働者教育協會運動の精神を理解し、且つ特に男女勞働學生は、各自の發達を可能ならしむる學級には、喜んで出席研究に努めるが、其の要求に合致しない學級からは遠慮なく自然離れ去るものなることを悟る以上は、決して其の歩むべき道を踏み違へる様な心配はないと思ふ。

(9) 指導者の地位

オックスフォード委員會は、輔導學級の指導者は當然大學に於ても亦教授を擔任

すべきものであるとし、而してこの原則には例外を許すべからざることを主張して居る。併し一面に於て學級運動が急速に發達する爲に、各指導者に對して必ず大學の教授をもなすべきことを求むるのは頗る困難であるし、實際大學の教授は輔導學級のそれとは趣を異にして居るので、必ずしも此の主張通りに實行され難い點がある。併し現時指導者のある者は、輔導學級事業に従事したる直接經驗の効績を認め、大學教授に任命せられ、かくて其の他種々の事由によりて任命せられたる教授と同様に、少くとも一學級を擔任し、又は大學夏期學校の教授に當ることが、輔導學級指導の事業上にも有益であるといはれて居る。

一九一四—一五年には學級擔任専門の指導者七六名を數へ、其中二〇人は三學級以上を受持ち、二十四學級の指導者につきては一學期一學級につき最低六〇磅、オックスフォードに於ては、特に最高八〇磅の割合にて報酬を支給された。文部省補助金下附規則には一學級に付指導者報酬最低六〇磅と規定されて居る。

此運動の發達を促す手取り早き方法は、上流有識者の熱心なる不斷の奉仕指導を促し、指導者の身分を保障し、且待遇の向上を圖ることが肝要である。又現時指導者は大體別途に其生活費を得ることを常として居るけれども、將來是等の人々が職業として其任務を考へ、必要なる生活収入及學識を發達せしむるに足るだけの需要を充たしうべきものとして、其の事業を認むる様にされなければ、此の運動は充分の發展を見ることが出來なくなるであらう。

四、輔導學級の財政

(1) 當局の補助

學級運動の基礎を確立するに與つて最も力ありしものは、大學の外に文部省であつて、文部省は此の事業に對して各方面より吟味調査の末、其の堅實優秀の成績を擧げつゝあるものたることを確認して、終始之を援助し、始めてロッチデールに學級

の設置されし時には二十時間以上出席する學生に對し、一人に付五志を補助するに過ぎなかつたが、翌年法規の改正に依て此の額は八志六片に増加せられた。數年の後には學生を對象とせず學級を基礎として、補助金を計算することに改められ、三年學級一學級につき年額三〇磅宛を補助せられ、一九一八年には四五磅に増額された。又同情あり且熟練せる視學官としてエー・イー・イー・ジメルン及ジェー・ドイー・ウィルソンを任命したが、ジメルンの辭職後は、ジョセフ・オウエンが任命された。此の人は大學擴張講座を経て之と連絡あるオックスフォード大學を卒業した唯一の勞働學生として有名である。此等の視學官は最初より學級事業の教育を理解し、其の發達に對しては勞苦を吝まらず盡力して呉れるので、勞働者教育協會の爲には實に甚大の影響を與へてゐる。

(2) 大學の援助

大學は、大學の事業として補導學級を認め、且之を條件として文部省の補助金を受けて居るけれども、其の學級經營の方法は校内事業の管理に比して、夫々著るしい差別があり、殊に財政上の取扱は大學夫々の事情に應じて、各其の趣を異にして居る。併し經費の主要なるものは、指導者の俸給旅費及校費であつて、其の主たる収入の資源は、文部省の補助金（一學級最高四十五磅）、地方教育官廳補助金、大學補助金等である。オックスフォード委員會は、戦前に於て一學級の經費は七〇磅以上にして、校費を除き文部省補助金及地方的財源の合計以上の支出を要すべきものと見積つて居る。二大學に於ては特に幹事を任命し、出来る限り、勞働者教育協會と連絡して事業を經營し、五大學は勞働者教育協會の地方團體基金に寄付して、學級の經營を之に委託し、其の他の大學に於ては別段寄附をしないで學級事業を之に委せて居るものもある。元來補導學級は勞働者教育者協會の事業の一部として行はれてゐるが、同協會の財源丈では此の學級運動を完成するには不充分の様である。

(3) 補助金の内容

一九一五年の調によれば、一九〇八年—一九一三年の間に於ける補導學級に對する補助金の内譯は次の如くである。

大學補助金	一七、四四〇
文部省補助金	一二、〇〇〇
地方教育官廳補助金	六、一〇〇
雜（ギルクリスト財團、消費組合、勞働組合大會、勞働者教育協會）	二、〇〇〇
計	三七、五四〇

文部省の補助金は現時は一學級に付四十五磅を一單位として、計算される。従て

一九一八年—一九年に於て凡ての學級が補助金を受くべき條件を充たしたとすれば、其の額は一年約七千磅に達するであらう。

五、輔導學級の效果

(1) 大學教育の社會化

此の卓越高遠なる學級事業が、必然如何なる結果を生ずべきものなるかを知らんとすることは、困難でもあり寧ろ無益なことである。例へば彼の大戰中若し輔導學級なかりしとせば、公民的社會精神に著るしき變化を生じたりしや否やといふ問題の如きは餘程考慮を要する事項であらう。尤も此の間に於て約五千人の男女實際労働者が、三年間以上歴史及經濟學につき組織立つた注意深き教育を受けたことは確實であつて、之に依つて多數の労働組合の役員は、其の事業の極めて有力なるものなることを自覺し、又雇傭主側代表者との會合の際、起り來れる問題の處理に當り、充

分之を理解して、適當なる解決を下すことが出来るに至つたなど、此種の實例は枚舉に暇がない位である。

又大學側及一般に學問といふ立場からも、從來労働教育に對して抱いて居た誤解、邪推又は無頓着の態度を速に一變せしむる機運を促した。それは成人労働者教育を實施することが、大學當然の活動なることを認めたる點であり、又オックスフォード、ケツブリツヂ大學が、從來貴族制度に偏して居つた弊害に目覺め、更に進んで労働者教育を行ひうる可能性あることを信じ、又其の目的の完全なることを確認するに至つた點にある。即ち大學側が是迄労働者の精神を全然顧慮しなかつたことは此の弊に陥りたる一原因ともいふべく、今や漸次其の改善の緒に就きつゝあるのである。更に大學教授其人の側に取ては、此等の明敏なる労働學生(夏季大學の際などの如きは特に)と共に研究することに新しき快感を覺ゆるに至つた。次の話の如き其のよき實例である。一九〇九年八月の夕オックスフォードに於ける或る英國法律の教

授が、『パリオル』大學に集ひ來れる鐵道従業員機械工及工夫より成れる組に、勞働補償法を講義したる後、此種の學級の恒例により、少くとも其の講義した時間と同じ時間だけ、質問應答討議を傾聽し指導することとなるや、一肢を失つたある鐵道従業員は、直ちに立ち上りて、負傷職工の見地から自己の經驗に照して、該補償法の實際的效果を論じた。此の如くにして教師と學生との協同により、始めてよく理論的及實際の見地より、問題を研究することが出来るのである。

(2) 大學内部の影響

輔導學級事業の大なる發達は大學に於ける其他の事業にも亦有利なる影響を及ぼすものである。思ふに大學の教育は教授と研究との連合であるが、輔導學級事業は、大學講師が實際上研究問題に活潑なる興味を有し、且多少の經驗を積める男女學生と絶えず接觸して、議論を戦はすものであつて歴史、經濟學、文學及精神科學並に

道德、科學の方面に於て、少なくとも校内教授の場合と同様なる研究に好都合の空氣を作り出すものである。又輔導學級制度の發達によりて、彼の大學教師の眞の任務は、本來大學内部の事業に存するに不拘、其の俸給の不充分なるを補足する一方便として、輔導學級を利用するが如き弊に陥るを避け、積極的に大學の内部に輔導學級制度を採用しうる様に、適當の職員を供給して、新機軸の大學を組織することが出来るであらうし、かくて從來大學は中流及上流階級の人々の爲に設けられた設備で、機會あらば勞働者階級より逃れ出づることを努める様な學生のみを收容して居ると云はれた非難を避けることが出来るであらう。

されど輔導學級運動の現状は、決して未だ充分なる發達を遂げたとはいはれない。財源の増加さへ工夫が付くならば、可成一人の指導者の擔任する學級の生徒數を減じ、更に進んでは一層留意して選抜したる學生より成る小學級となし、以て益々指導者と勞働學生との個人的接觸を深むると共に研究に便宜を與へ、寄宿指導者を置

き、其の所屬學級に於ける講義を準備せしめて、輔導學生の指導に便せしむる等、種々の方法を講ずることが出来るであらう。

輔導學級の是等の發達及從來の實驗上の教訓に基きて、企てらるべき其の他の進歩は、要するに大學が構内の學生と同様に、校外の學級の學生をも考慮して取扱ふ價値ありと認むる原理の適用に外ならぬものである。

(3) 教育の機會均等

輔導學級運動が多少の缺點あるに不拘、現在の狀態に於ては殆ど無限に擴張の可能性がある。大學の校内教育の條件と費用とは、少數の人々を除きては其の利益を受くる機會を得ることを困難ならしめて居る。然し輔導學級は之に反して、學生をその職業から分離せしむることなく、唯僅に其の餘暇の一部を費さしむるに過ぎない。又其の社會的地位を顧慮し、學生一人當りの經費は比較的僅少にて足りる様になつ

て居る。故に此の學級制度は國民の少數階級より多數階級に至るあらゆる方面に渡りて、大學教育の普及を圖るものであると云つてよい。

小學校卒業後殆んど全く補習教育をも受けたることなき學生に對して、大學程度の教育を與へんとする此の種の實驗は、彼等は已に成年期に達し、多少の社會的經驗を経て眞に興味を感じる問題に對して、活潑なる研究心に燃えつゝあるが爲めに幸に今日の成功を見たのである。知識を得んが爲めには、喜んであらゆる物を犠牲とする熱心、終了生によりて計畫されたる公共的施設の多數なることより認め得らるべき社會的地位の重要さは、大多數の大學構内學級の場合よりも、輔導學級の場合の方が更に強く認められる。又輔導學級に於ける多數の勞働階級運動の役員は、考慮を要すべき社會上特殊の問題を學生に提供する。併し此の學級は從來教育の過程を歩み損なつた普通の學生の必要にも應じうべきものであつて、單に特殊の才能ある人のみが輔導學級に入りて、利益を得べきものであると考へることは大なる誤り

である。加之輔導學級は三年間大學に在籍した學位を取り損へる卒業前の學生と同等の素養を有する人々に對しても、等しく有益なるものである。されば初等教育が如何に改善せられ、若は補習教育の便宜が如何に擴張されたりとて、決して輔導學級を不必要とすべきものでなく、寧ろ益々其の範圍を廣むるに至るであらう。

蓋し輔導學級の應ぜんとする必要、即ち成人が組織的教育に依て自己の經驗、讀書、反省を補充せんとする要求は、絶間なく發達するものであるからである。而も寧ろ反對に若しも輔導學級の如き直接の手段によりて、成人選舉權者の教育の水準を高めなければ、如何に獨り初歩の公民教育のみを改良しても、之によりて社會改善に必要な有力の輿論を導き出しうべきや否やは、頗る疑はしきものである。されば此の點から考へても、廣く社會各種の教育團體に於ける訓練されたる指導者の中に、此の輔導學級の間接の影響を及ぼすことが必要である。

六、近代生活と輔導學級

(1) 市民教育と輔導學級

要するに輔導學級は成人の教育を求むる方法として、近代的デモクラチック社會の生活に最も適合するものであるといふことは、全體として廣く成人教育を眺め、且之に對する輔導學級の地位を考察して得らるべき正當の評價である。

抑々從來教育に對する成人の要求は、常に其の満足を得んとてあせりつゝあるにも不拘、教育制度の立案者側には、兎角閑却され勝になつてゐた。尤もある意味に於ては靈的精神的發達を圖るための成人男女の各種の會合が、教育の目的に役立つものとして考へられて居つたけれども、元來大衆を對象とする教育運動には、必ずや其の中に最も熱心にして不撓の精神を有する少數研究者の團體を含んで居なければならぬことに、着眼したものが殆んど無かつたので、何れも充分の効果を擧げる

ことが出来なかつた。例へば實際政治學を多數の人々に教授することは、同時に少數熱心者の政治及政治理論の研究を意味するものであつて、其の他人間活動の全範圍を通じて、尙同様の事象を見るであらう。

今や國民が國家の政治に參與せんがために、汎く市民たる特權の行使を要求しつゝあるの時に當りては、當然其の各市町村に於ける公共團體の制度を研究する機會が與へられねばならぬ。又各勞働者が其の職業に關する條件及地位を整理改善せんとする運動に、自然導き入れらるゝの時に於ては、各人は必ずや夫々少くとも歴史哲學及經濟學等を研究することを要する。

最近輔導學級運動の勃興を見るに至つたのは、畢竟社會が意識的又は無意識的に如上の事實を認めたるに基因するのである。唯遺憾なるは過去五年間に於ける實際の情態を見て、機運が未だ充分に熟したとはいはれないことである。即ち性來又は經驗上特に興味を感ずる問題の研究に、熱心に身を打込んで従事した貴重なる學殖

と力量とを有する人々の、極めて少數なることであつて、之が爲めに此の運動の範圍と性質とが、著るしく其の勢力を減殺されることは免れ得ないと思ふ。

かくて人々は一氣に輔導學級の要求を高唱して、遂に此の制度の實現を見たるが、文部省は別段何等の異議をも挾まざるのみならず、却つて請はるゝまゝに、之を助成し、地方教育官廳も其の熱心の度合に差異はあり乍らも、之を承認することを拒まずして、大部分は多額の補助金を與へ、大學の如きも中には稀にホンの申譯的に些少の財政的援助を與ふるに止まり、其の他の寄與をなすことを好まざる向もあるが、殆ど全部は何等の異議なく之を歓迎した。

されば成人教育が其の本來の目的を達成せんがために。合理的要求を主張する限り、何處迄も正當に社會の承認を得べきものである。而して勞働者教育協會に依て立派に創始せられたる此の組織的事業が、其の影響は直接に二百以内の都市及村落に及べるに止まりて、地域から眺めては左して範圍が廣いと思はれぬけれども、

此の施設の優良な成績は、遂に成人教育全體の問題を考究せんが爲めに、成人教育調査委員會の合理的なる任命を促すに至つた。此の委員會は數次の臨時報告を提出して居るが、其の中心思想の少くとも一部分は、大學輔導學級運動の力に負ふ所が多い。一九一九年に出版せられたる其の最終報告には、成人教育事業の大部分（特に成人學校及消費組合に於ける教育運動）を叙述されてあるが將來此の方面に向ても其の進歩發達を圖るべきは勿論、絶えず各方面の豊富なる實驗を鼓吹し其の結果を吸収して漸次之が改善を圖らなければならぬ。

(2) 社會の實生活と輔導學級

現時英國の成人教育に於ては、大學と協同作業を行ふことを認めたる政治家、醫師、俳優、行政官等の如きあらゆる形式及種類の活動に従ふ人々の中より選ばれたる學生によりて、學級が組織せられ、かくして直接に全人生生活より靈的及精神的勢力を涵養せんことを期するものである。従つて大學の教授が時を定めて實務を體驗せる男女労働者と會合し、労働者は社會の實生活に於て得たる結果の記録を、學者に提供し、學者は平素専門的研究の成績を労働者に頒ち與へることによつて、自然學者其人の研究を完成せしめることが出来るであらう。

思ふに輔導學級運動は實に『新らしく適用されたる古き眞理』を發見したものと云ふべきである。抑々プラトールが理想國家の支配者の修養の爲めに教育計畫を立てつゝありし時には、其の學生は三十歳以上に達するまでは、哲學の研究を見合せ、五十歳即日常社會の經驗を充分に積み得たる時代を以て、教育の最盛期と認められた。蓋し此の時期に及んでは始めて彼等が研究せんとする根本問題を眞に自覺することを得、且其の充分成熟を遂げたる智力を以て問題の研究に直面することが出来るからである。

近代デモクラチック國家に在りて、國政に參與すべき國民修養の爲めに、此の種

の教育の必要なることは勿論であるが、從來議會の協賛を経たる法律には未だ此種の計畫が見出されず。曾つて學生が學位を求むるにあらすして、單に興味を追求する指導を求めんが爲めに集ひ來れる大學の謙遜なる理想が、中世に及んで大學が法律家及僧侶の養成所、富者の補習學校たるにすぎなかつたために、従前の貴き理想は遂に消え失せて仕舞つたのであるが、今や輔導教育運動に依りて、始めて僅に其復活を見んとして居る。即ちかくの如き學校デモクラシーは、中世歐洲が教會を渴望したると同様に、深甚なる現代國民の要求である。併しデモクラシー國家に在りては、多くの人が國政に參與すべきものであるから、輔導教育は決してブラトリーの考へたる如く少數者の爲めに限られたる教育であつてはならぬことを注意すべきは勿論である。

七、輔導學級の理想及將來

(1) 輔導學級の精神

今こゝに輔導學級の將來を論ずるに先ち、そは今日迄果して、其の創立の精神を體現し、所期の目的を達成しつゝ、ありや否やを考察することが必要であるが、幸に此運動の背後に存する本質の理想は、少しも損はれることなく、労働者教育協會と輔導學級運動とは、有力なる労働者の大學であると稱せられてゐる。勿論此運動の發達に伴て種々の危険も伴はれるであらうが、其の結果一種の我儘な、若くは悪く言へば小生意氣な氣風を作る様になつては、飛んでもなき不幸であるから、平素指導者の選定に對し、極めて深甚の注意を拂つてゐる。かくして任命されたる指導者と學生とが親密に接觸して、不知不識の間に互に影響し合ひ、感化し合ひて、寛容、協同及び意見を異にする人々の間に雅量を増し、始めて眞の意味の教育が行はれて、同情友愛の念を涵養し、以て社會各方面の人々を結合組織せしめ、又特に學

生が自然の間に指導者を通じて、大學側の思想にも影響を及ぼすことも著るしいものである。即ち輔導學級の理想に到達するのは、此の兩者の最も長所とする美點が相互に領得同化せらるゝ時であるといふことが出来る。

輔導學級運動は決して所謂似而非教育に墮し、個人的野心を満足させる踏台となり、若くは知らず識らずの間に、ある機關の道具にされる様の弊に陥つてはならぬ。此の運動の先驅者は、夙に書物學問は眞の教育にあらずと云つてゐる。されば若しも學生及指導者にして、此の本義を忘るゝならば、本事業の根柢に存する眞精神は全然没却されたものといはねばならぬ。思ふに従來往々勞働者教育協會に對して嘲笑諷刺せんとしたる世人の多くは、始めは其の趣旨を容易に理解し得ざるも、遂には無限の眞理を包含せることを感得し共鳴讚美するに至り、之を以て教育的並に靈的の偉大なる勢力を有するものなりと認むるに至つた。即ち此の運動をして單に學級を經營する教育機關たるよりも、更に大なる事業をなし遂げしめんが爲めには、

何處迄も此の根本の點を忘れてはならぬ。蓋し此の運動の隆昌今日あるを見るに至れる所以のものは、過去の優秀なる指導者及熱心なる學級幹事等の人々が、多大の犠牲を捧げて、前記の理想の普及徹底に全心全靈を傾けたる効果に負ふ所多大なるものあることを信ずる。

(2) 輔導學級の改善

勞働階級に關するオックスフォード大學の報告に於て、輔導學級出身の學生は是非共容易くオックスフォード大學の寄宿生たることを認められて、こゝに其の研究を續けることが出来る様にせらるべきであると勸告して居る。又現に或輔導學級の學生は、自ら進んで別に輔導學級の有力なる指導者となつてゐるが、將來も尙益々此の傾向を盛ならしめたいものである。其の一例はロングトン輔導學級である。即ち主として此の學生の熱心なる指導に依つて、別に姉妹學級運動が始められて、學生

はスタッフオールドシャイアの僻遠な鑛山部落の同志の研究團體を指導せんがために一日の作業を終へて疲れたる身をも顧みず、數哩を距てたる會場に通ひ續け、かくして今や研究團體の聯合會さへ組織されて居る。

又學生が三年の課程を終りて後、尙其の研究を繼續せんが爲めに四年以上の學級又は研究科を置き、若くは異つた科目を研究する爲めに更に他の學級に入るものもある。最近には又主として共同の集會所の必要に迫られ、コルレー・カレッヂ、マンチエスター・カレッヂ、シエフイールド労働者教育協會會館などいふ會館が各地に設置せられて、學生及協會員が寄宿もすれば、簡便に集會も出來、其の他協會の地方部のあらゆる事業がすべてここに統一されて居る。此の會館は將來時を経るに従つて益々増加する可能性を持つて居ると思ふ。

(3) 輔導學級の前途

此の運動の前途につきましては、將來幾多の困難あるべきことは勿論と思はれるが、大體に於て次第に靈的精神的方面に向つて發達を續け、而も其の進歩の無限なるべきことは、敢て喋々を要しない。斯くして吾人は已に大學と労働者とを相互の協同にまで導き得た。然らば何故に之と同じ意味に於て社會上種々なる方面に、分立せる多くの人々を結合し得ざるか。濠太利亞に於ては代議士のために輔導學級が設けられてゐる。然らば英本國その他の國にありても又同様の施設が望まれべきではなからうか。

凡そ如何なる作業若くは職務にせよ、決して輔導學級を以て無益と捨て去るべきものではない。此の運動の擴張の可能性の前には、世界の果て以外には如何なる制限も存しない。吾人は已に大英本國、米國歐洲大陸及濠洲を通じて、學級運動の親しき友を見出した。然らば安んぞ更に進んで之を國際的たらしむるを得ざる理由あらんや。されど此の目的を達成せんが爲めには、苟くも學級運動信奉者は此の運動が

財政上及管理上妨害となるべき種々の事情のために、其の發達を沮止せられざる様、常に格段の注意を拂はねばならぬ。斯くの如くにして始めて勇敢に堂々たる進歩を續けて、あらゆる社會改善の根柢たる教育の理想を達成すべき途を開拓することが出来るのである。

大正十五年四月二十日印刷
大正十五年四月廿五日發行

編輯兼 發行者 惣 田 太 郎 吉
發行所 財團 協 調 會
法人

印刷者 東京市神田區今川小路二丁目十四番地
高 倉 嘉 夫

印刷所 東京市神田區今川小路二丁目十四番地
忠 誠 堂 印 刷 所
電話 四 五 八 〇 五 番

協調會教務課發行勞働者教育資料

勞働者教育の組織と經營 No.1

成人勞働者教育の主張 No.2

新成人勞働者教育論 No.3

獨逸民衆大學の精神 No.4

成人勞働者教育の輔導學級 No.5

協調會社會課發行福利施設資料

勞働者教育及修養施設調査

本邦産業福利施設概要

産業福利施設概要

本邦工鑛業懇話會概要

新時代の工場監督者

290

46

終

